

## 2022年度年末手当「2.4ヶ月+2万円」という低額回答に対する緊急声明

11月11日、申6号2022年度年末手当等に関する申し入れ第3回交渉において、会社は「2.4ヶ月+2万円」という低額回答を行った。我々の要求である「3.3ヶ月+5万円」には遠く及ばない低額回答である。

私たちは、昨年度の低額回答の中、赤字とコロナ禍においても会社施策を担い、感染対策に取り組みながら安全・安定輸送を確保し、黒字経営のために最大限努力をしてきたのにも関わらず、今回の回答は我々の努力を無視した回答であり到底認めることはできない。

**見よ！！これが千葉地本青年部員と未加入者の声である！！**

### 【千葉地本青年部員】

- ・特別利益は人件費をカットして計上したもの。現場で奮闘する私たちに計上した分を還元するべきだ！
- ・ブラックな働き方への不満が多い業種で鉄道業が1位にランクインしたニュースが出た。  
JR東日本は違うのか？会社に魅力を感じない。
- ・モチベーション低下が、安全レベルの低下に繋がるのを分からないのか？  
衝撃的過ぎて仕事に身が入らない。社員を馬鹿にしているとしか思えない回答だ！
- ・一般のお客さまを招いての増収イベントを実施しても、現場長からは何のサポートも無い。  
負担が増すだけで、運営側に笑顔など溢れない。会社活性化の委員会も全員が強制的に入らされ、通常業務がひっ迫している。社員からは取るだけ取って何の還元も無い。怒りのひとことだ！
- ・どんなに利益を上げても、「先行き不透明」とお得意のワードで誤魔化される。  
経営陣は本当にこの先を見通す気があるのか？
- ・回答書を見てとてもガッカリ。職場では人員不足で全員が休日勤務をしている。また、役員はいつの間にか自主返納を止め、自分たちの懐にしまっているのを知り、正直もう会社のために頑張るのはやめようと思った。現場で奮闘する社員に還元しない会社は、まともな会社と思えない！

### 【未加入者】

- ・現場が安全安定輸送や委員会活動を必死にやっているのにも関わらず、この回答では現場は本当に言うこと聞かなくなると思います。仕事をやって当たり前という上の姿勢に納得いきません。
- ・駅の方では人が減らされて勤務がつかなく、この回答は納得できません。
- ・社友会に強制的に入らされて抜け出せないのに、この回答は酷すぎます。
- ・この回答の額では、すぐオムツ代とミルク代に消えてしまい、生活が苦しい。

会社は声を受け止め、「2.4ヶ月+2万円」という低額回答を撤回し、満額回答を行うべきだ！！

### 『組合員の皆さんへ！！』

組合員全員で今一度立ち上がって闘いましょう！！合言葉は「主役は組合員全員！！」です。

### 『社友会・未加入者の皆さんへ！！』

意見も言わず、知らないふりでは、この回答になるのが現実です！JR東労組に加入して組織に力をつけて一緒に労働条件を良くするために、たたかきましょう！！

2022年11月13日  
東日本旅客鉄道労働組合  
千葉地方本部青年部